

30歳を迎えた37期生の皆さんへ

今年度、30歳を迎えた37期卒業生【平成26(2014)年3月卒業】の皆さんに向けて、当時の担任団の先生方からメッセージをいただきました。

先生方には同窓会より連絡を取らせていただき、30歳になった皆さんに向けて、字数も内容も特に決めず、自由にメッセージを書いていただくよう、お願いをしました

皆さんそれぞれの高校時代、そして当時の先生方を思い出しながら、どうぞご覧ください。

右の写真は、37期の皆さんが卒業の際に「卒業記念品」として学校に贈った、体育館用の大型赤外線ヒーターです。冬季の体育館での卒業式や集会などの暖房用に現在も力を発揮しています。



3年 1組 今村 照彦 先生

37期卒業生のみなさん、お久しぶりです。イマムーこと今村です。

私は今現在、他の高校で非常勤講師をしています。

ところで、君たちとの3年間の思い出はたくさんありますが、なかでも沖縄修学旅行で乗ったバナナボート、最高の楽しさでした。君たちも沖縄の青い海を満喫した人も多いのではないでしょうか。

また、音楽祭のコーラスでは、どのクラスも素晴らしい歌声を届けてくれました。なかでも優勝に輝いた我がクラスのコーラスには感動し、涙が出るほどでした。

で、えっ？もう皆さん、30歳！？

早いですね！！

いよいよ、それぞれの場所で後輩たちを引っ張る立場になろうとしています。

自信をもって、他人の気持ちをまず優先して、してくれぐれも健康に十分気をつけて、無理をせず自然体で、頑張ってくださいね！

イマムーより

3年 2組 北澤 健 先生

37期生の皆さん、ご無沙汰しています。もう30歳になられたと聞いて、時の経つのは早いものだと感慨深いです。

私はお陰様で定年を迎ましたが、現在も高校で理科の授業をしております。県央にある現任校4年目で毎日毎日高校生に囲まれて生活しています。高校教師になってとても良かったと思うことは、自分が年を重ねても相手が常に高校生なので、いつまでも気持ちが若いまま生活できる点です。そのためか？実年齢よりは若く見られることがあるのはうれしいものです。ただ、体力の衰えは隠すことはできず、毎日5階まで階段を上り下りするのがつらくなっています。ひとまず、年金を頂ける65歳まではこの生活を続ける予定なので、まずは健康でストレスをためないようにしたいですね。

私の近況報告にもう少しお付き合いください。私は献血が趣味で現在220回を超えるました。考えてみると自分の体重を超える献血量で、少しでも社会貢献できていたらいいなと思っております。また、昔から旅行が趣味なのですが、最近は少しでも時間ができれば格安旅行を繰り返して刺激を受けています。年末には夫婦で京都に行き、60,000歩ぐらい歩き回りました。そして、現在1歳3か月になる孫娘に会うのが最大の楽しみになっています。まだ、書きたいことはありますがあれらに書いておきます。

私は、母親に会うために度々金井高校の前を車で走ります。変わらない外観を見るたびに懐かしさがこみ上げてきます。何人かのお顔が目に浮かびますし、あの頃の皆さんとの思い出は私にとっても大切な物になっています。たった3年間のお付き合いでしたが、とても楽しい時間でした。

皆さんは金井高校を卒業して12年経ったのですが、思い起こせば、私の高校卒業から30歳までは非常に

中身の濃い12年間でした。大学生活だったり、就職してお仕事を頑張っていたり、結婚していたり、子どもができた親になっていたりと皆さんもおそらくそれぞれの人生の深い思い出が作られたことでしょう。今後も脂の乗り切った生活が待っていますので楽しみにしてほしいと思います。

最後に私からのメッセージを伝えます。人生はたくさんの人と出会うことでより豊かになります。時にはうまくいかないこともあるでしょうが、前向きに生きていくってください。

きっといいことがありますよ。

3年 5組 長谷川 正先生

金井高校37期生の皆さん、お久しぶりです。3年5組の担任だった長谷川正です。

コーヒーは、ブラックで。

若いころは、こんな苦い飲み物、絶対飲めないと思っていた。

いつしか気付いたら、コーヒーはいつもブラックで飲むようになっていた。しかし、嗜好は変わっても、思考の仕方は現在も若い頃とほとんど変わっていないと思っている。

私は高校時代、ワンダーフォーゲル部だった。校舎の外れの場所にあった部室からはいつも楽しげな笑い声が聞こえていて、思い切って入部した。今まで続く、山との出会いだった。

大学はボート部だったので山からはしばらく遠ざかったが、なぜか大学1年の夏休みに富士山の山小屋でアルバイトをした。天水に頼る富士山は水が貴重なので、18日間風呂に入れなかった。19日目に下山して入った風呂は素晴らしいだった。

初めて赴任した高校では、山岳部顧問希望者が多く、顧問になることはできなかった。

2校目の高校は山岳部がなかった。

3校目の高校が、金井高校だった。山岳部がなかった、と思ったら、山岳部がかつてあったことを知った。

同好会から山岳部設立を呼びかけた。ようやく、山岳部の顧問になることができた。

去年の夏、かつて金井高校山岳部で宿泊した長野県のヒュッテに立ち寄ってみた。宿泊ノートに山岳部の生徒や私自身の記入した文章を見つけることができた。当時の記憶が懐かしくよみがえった。

今回、30歳となった皆さんへのメッセージを考えるにあたり、卒業アルバムを見返してみると、皆さんとの金井高校での日々が思い出されます。皆さんの笑顔がまぶしいです。担任としては至らなかった点も多々あったと思いますが、とにかく生徒の皆さんのが楽しい高校生活を送ってくれたらと願っていました。幸いにして3年5組はお互いを思いやる大変仲の良いクラスだったようですので、うれしい限りです。

37期生の担任だった当時、小学1年生だった娘は現在大学1年生です。時の流れは早いものですね。

皆さんは高校時代、どう過ごされましたか。

高校を卒業してから今まで、どう過ごされてきましたか。

そして、これから日々をどう過ごされますか。

懐かしい皆さんに幸多かれ、とブラックコーヒーを飲みながら様々に想いを馳せています。

【訃報】

3年6組担任をされていた、早川 康子 先生はご定年後も再任用として5年間、金井高校に務められました。同窓会長・森が、金井高校教頭をしていた令和3年度も、3学年担任、陸上部顧問として活躍されておられ、職員会議などでの、生徒のためを第一に考えられた熱のこもったお話は、異なる意見を持った教員にも心に響くものがありました。

再任用終了後も、令和4年度からは逗葉高校で臨時任用教員として変わらず務められていましたが、1学期末の成績会議でお話し中に倒れられ、そのままその日のうちに亡くなりました。転任後も、お元気にしてらっしゃると伺っていたので、金井高校職員一同、大変驚き、悲しみに包まれたことを覚えています。

ご冥福をお祈りいたします。